

フィレンツェのタイ・ユア・タイが創立30周年! 紳士フランコ・ミヌッチのDNAを探る旅

フランコ・ミヌッチ氏が僅か7坪の店をフィレンツェのスパード通りにえたのは1984年。以来、クオリティとスタイルを追求し続けて30年。ミヌッチスタイルはゆっくりと、しかし着実に、世界の紳士へと伝播した。そんなミヌッチ氏の紳士の哲学を巡るべく、フィレンツェに飛んだ。

◎ GIULIO GRISENDI(イタリア取材)、若林武志(静物)、伊崎真一(P211取材)
◎ イーリング/四方意象(CODE) 構成・文/藤田進宏



タイ・ユア・タイ アジア
代表取締役
加賀健二さん

1964年大阪生まれ。大学卒業後、インポート会社に就職。その後、「96年にタイ・ユア・タイの日本での立ち上げに参画し、2011年からタイ・ユア・タイ アジアの代表に。フランコ・ミヌッチ氏のエレガンスの継承者。

タイ・ユア・タイ
創設者
フランコ・ミヌッチさん

1935年ローマ生まれ。映画配給会社、ヘネットの営業などを経て、「84年、フィレンツェにタイ・ユア・タイをオープン。クオリティの高さと独自のスタイルにこだわった“ミヌッチスタイル”を浸透させる。2002年に引退。

タイ・ユア・タイ
デザイナー
レオナルド・タッツァーリさん

1967年フィレンツェ生まれ。「95年よりタイ・ユア・タイ。家業が洋服店だったため、幼少の頃から生地に触れて育つ。その後インドを旅した際、色彩感覚が磨かれ、ネクタイのデザイナーとして開花。ミヌッチ氏の義息子。

Episode 1

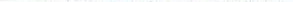
フランコ・ミヌッチ氏が
1984年に開いた僅か7坪の店から
タイ・ユア・タイの歴史が幕を開けた！



1987



1990



2014

チ氏の写真を眺めていると、クラシックがとても魅力あ
る。84年のオープン時から変わったの
う色くらい。継続は自分のスタイルに磨きをかけ、顧客の
生む。そしてミヌッチ氏が長けていたのは、他よりちょ
こ見て、時代性をさりげなく取り入れていた点だ。

セッテピエゲ(7つ折り)は
タイ・ユア・タイによって
広まった！

今年で創立30周年を迎えたタイ・
ユア・タイの考え方は、昔から至つ
てシンプルだ。季節に合った上質で
着心地のいい素材、四季の移ろいを
映し出す色、そして心地よくいられ
る適正サイズの服を、自然体で着る。
あとはシーンに相応しい格好でお洒
落を楽しむ、それだけだ。

ラグジュアリーなテーラードのジ
ヤケットに、柔らかな襟のドレスシ
ャツを合わせ、芯地を使わないセッ
テピエゲ(7つ折り)のネクタイの
小剣を長く結び、股上が深めで適度
なゆとりのあるパンツを穿く。これ
は創業者であるフランコ・ミヌッチ
氏がお店をオープンした30年前から
継続してきたことで、今ではタイ・
ユア・タイのスタイルとして世界中
に知られているものである。

時代とフィットした要素を盛り込
む際は、軸からぶれる流行には手を
出さない。シーズンごとにミヌッチ
氏が提案する服を買い足しても、そ
れは決して基本軸からぶれていない
ので、10年先までも定番として着続
けられる。毎シーズン、クローゼッ
トの中身を貰い足していく感覚で服
を揃えていけるのだ。顧客のワード
ローブを把握した上でスタイリング
のアドバイスをし、パーソナリティ
を最大限に引き出してくれるのも同
店の魅力。これこそが、ミヌッチ氏
がフィレンツェの地に時いたクラシ
ックの種子である。

10年後も20年後もそれは変わること

タイ・ユア・タイという
不变のスタイルがある

フィレンツェ市内の 自社工房で殊玉のタイは 作られている！

細やかな手の感覚が必要だから職人はキャリア豊富な女性陣

タイ・ユア・タイのネクタイの工房はフィレンツェ市内にあり、ここでは9名が働いている。皆、かなりの熟練の技術を持っているが、中でも庄巻なのは、セッティエビエを縫わせたら右に出る者はいないと言われているイタリア最強の姉妹、ルチアナさん(右から3番目のライトグレーのニット)と妹のミルヴィアさん(中央の赤いニット)だ。ともにキャリアは50年超え。セッティエビエは人によって作り方が異なることもあるが、2人のコンビと同じ雰囲気は、誰も再現できない。

セッティエビエのタイはこうして作られる！

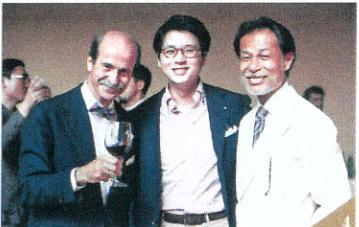


スカーフのような仕上がりは50年のキャリアが為せる技

①3パートに裁断され、1枚に縫い合わされた生地。分量が通常の倍必要となるセッティエビエゆえ、大剣部分の面積が極端に大きい。裁断面は1本につき150cmまつる。端は5mmを2mmに巻き、ミルヴィアさんはこれを40分で柔らかく縫いあげる。②③④大剣の型紙を入れて折っていく。要所で針留め。⑤⑥⑦同じく小剣も型紙を入れ7つ折りに。⑧ループは細く仕上げるのが粋。⑨大剣も小剣も芯地を一切使わない。⑩折って仕上げるまでは15分。

フィレンツェのストロッツィ宮殿での 30周年記念パーティには錚々たる顔ぶれが勢揃い！

ラボした
も発売！



ゲストの顔ぶれがタイ・ユア・タイのスタイルを物語っている。①ミヌッチさんは友人の再会に楽しそうにおしゃべり。②右からローマの名靴店マリニの3代目カルロ・マリニさん、フィレンツェのトップサルトのジョヴァンニ・マイアーノさんとジャンニ・セミナーラさん。実に豪華な3ショットだ。③ヴィッラ デル コレアの代表ショーンさん。④右から加賀さん、香港とニューヨークにお店を持つジーアーモリーのマークさん。そしてカルロ リーヴァを擁するフェルモ フォッサーティのオット・マンテロさん。⑤ソウルのテーラーブルの代表カクさん。⑥右はサン クリスピングのフィリップさん、左はピッティ協会会長のスカッチャヨーニさん。⑦右端はタイ・ユア・タイ大阪の耳野さん。その隣はナボリのサルヴァトーレ・アンブロージさん。

タイ所属の写真家・伊崎(の左から2番目)が、ピ中にフィレンツェのライでタイ・ユア・タイ創業念しての写真展を開催。コラボタイと伊崎さんがミチさんのポートレートセットを5点のみ限定販ライカ×タイ・ユア・タ・タイ 青山)